

事後評価概要資料

番号	2001	担当課名 河川砂防課													
事業名	床上浸水対策特別緊急事業	事業主体	埼玉県												
路線・河川・地区名	一級河川 不老川	事業箇所	狭山市、入間市												
事業完了年	R5	事業完了後の経過年数	2年												
事業概要	目的	不老川中上流部の浸水被害の軽減を目的とする。													
	必要性	不老川は入間市南西部に端を発し、新河岸川に合流する流域面積 56.55km <sup>2</sup> 、流路延長 17.98km の一級河川である。 荒川水系新河岸川ブロック河川整備計画に基づき、河川の拡幅や調節池の整備を実施していたが、平成 28 年 8 月台風第 9 号による豪雨で、不老川中上流部の未改修区間において、大規模な浸水被害が発生した。 そのため、床上浸水対策特別緊急事業により早期に洪水被害の軽減を図る必要性が生じた。													
	効果	床上浸水被害の解消により、地域の安全・安心を確保し、地域活力の向上が期待される。													
	事業内容	<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>9,608 百万円 (税抜)</td> <td>事業期間</td> <td>平成 29 年度～令和 5 年度 (7 年間)</td> </tr> </table> <p>・床上事業延長：8.2km [河道拡幅 (2.4km)、大森調節池整備、橋梁架換]</p>	総事業費	9,608 百万円 (税抜)	事業期間	平成 29 年度～令和 5 年度 (7 年間)									
総事業費	9,608 百万円 (税抜)	事業期間	平成 29 年度～令和 5 年度 (7 年間)												
事業概要図															
事後評価項目	事業の効果の発現状況	<p>河川整備計画規模の洪水が発生した際の被害軽減効果は以下のとおり。</p> <p>(1) 浸水面積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備前</th> <th>整備後</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>245ha</td> <td>124ha</td> <td>-121ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浸水区域内人口</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備前</th> <th>整備後</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,729 人</td> <td>2,555 人</td> <td>-4,174 人</td> </tr> </tbody> </table>		整備前	整備後	差	245ha	124ha	-121ha	整備前	整備後	差	6,729 人	2,555 人	-4,174 人
	整備前	整備後	差												
	245ha	124ha	-121ha												
整備前	整備後	差													
6,729 人	2,555 人	-4,174 人													
効果分析の要因の変化	<p>当初評価時 (平成 28 年度) との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総事業費 7,685 百万円 (税抜) → 9,608 百万円 (税抜)</li> <li>・事業完了年度 令和 4 年度 → 令和 5 年度</li> <li>・B/C 4.6 → 2.9</li> </ul>														
事業実施による副次的効果	<p>河道改修に伴い管理用道路が整備されたことにより、河川沿いを散歩等で利用しやすくなったと住民からの声をいただいている。</p> <p>また、護岸整備等による植生繁茂の抑制効果も見られ、維持管理費の縮減に寄与すると考えられる。</p>														

評価結果及び対応方針 (案)	(評価結果) 事業の実施により、浸水リスクが軽減され、地域の安全度の向上が図られた。  (対応方針) 事業効果は発現しており、事業の有効性が確認されていることから、今後改めて事後評価及び改善措置の必要性はない。 なお、この事業完了後も未整備区間が残っていることから、引き続き調節池整備や河道改修を進め、治水安全度の向上に努めていく。
特記事項	なし